

あいら 報 広

町の人口動態
(3月31日現在)

世帯数	9,919 戸 (+34)	
人 男	14,323 人 (-14)	
人 女	15,915 人 (+10)	
口 計	30,238 人 (-4)	
3月の	出生	30 人
	死亡	15 人
	転入	448 人
	転出	469 人

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
 発行者 岩根清春 編者 梅木逸郎

(印刷所)
 キング堂印刷



読み終わったら故郷を離れている家族や知人に送りましょう

(重富保育園にて)

希望にもえる春

やわらかい日ざしが、たちこめる春。
 冬の長い眠りからさめ、草木も一斉に先を
 競って、芽をふく。
 生まれたばかりの幼い芽が、大気で力いつば
 い背伸びしています。
 今年は、「国際児童年」です。
 子どもは、民族の宝・世界の宝です。
 希望にもえる幼い芽を、大切に育てましょう。

市制施行の基礎づくり

5項目をかかげ 町発展に努力



岩根町長

岩根清香町長は、昭和五十四年一月二十二日町政担当二期目の町長として誕生して以来過去四力年間の経験を生かした新たな発想と覚悟を基に、昭和五十四年三月十二日開会された、第一回定例町議会で昭和五十四年度の町政に対する所信の一端を表明し、各予算の概要について説明しました。

はじめに

今年、私の町政担当二期目の年として、過去四力年の基本目標・基本理念を堅持し、都市化に伴う現時的・重大な課題と真剣に取り組む近き将来市制施行への足がかり・基礎づくりの初年度として心機一転、新たな情熱と勇気を奮い起こし、最大限の努力を傾けていく覚悟であります。

公債比率を

10パーセント台に

わが国をとりまく内外の経済環境は極めてきびしいものがあり、財政につきましては、国・地方を問わず困難な局面を迎えています。この財政窮乏の中にあつて町政を担当するものとして財源の重点的配分と経費の効率化に努力しながら経常的経費は極力抑制し投資的経費の増大に努め、最大の主眼を後年度の財政負担の一大要因となる公債比率を一〇パーセント台に抑圧することにおき、将来の展望にたつて次の課題を重点的に取り組んでいきたいと存じます。

昭和五十四年度の重点施策として

- ① 生活環境整備と上水道水源確保
- ② 道路交通網体系の整備促進
- ③ 教育文化の向上と施設の整備充実
- ④ 産業経済の振興
- ⑤ ぬくもりにみちた福祉社会の実現へ

以上の五項目を国・県費起債わく等の確定と自主財源の推移を見極めながら現段階において見込み得る財源を計上し、町政発展に努力してまいりたいと存じます。

建設 公園・道路交通網の整備を重点

都市計画事業については、昭和五十三年度をもって工事はほぼ終り、残余の終末工事を実施することになり、後は換地事務に入り早期完成に努力いたしたいと存じます。

本年度は、帖佐駅以南約七〇ヘクタール、重富第二以西約五〇ヘクタールについて、来年度以降区画整理事業実施のための下調査と

して「区画整理事業基本調査」と基本計画作成のための経費三千九百九十五万円を計上いたしました。公園整備につきましては、「緑のマスタープラン」を参考にしつつ総合的配置を考え、その整備を図ることとし、船津公園の促進や重富第二土地区画整理地区内の永池公園の整備をすすめてまいります。

都市幹線排水路と公共下水道については、始良町のかかえる難問であります。都市計画事業の区画整理事業との関連もあり将来の重複をなるべくさけるような方向で、年次計画により整備してまいりたいと存じます。

公共下水道の設置については、一市三町にまたがる「流域下水道方式」が最も有利であるというところで、県等にも陳情しているところであります。

始良西部地区広域行政の中の施設・設備の充実に一層の努力をなし地域の拡大・管理体制の改善に努めてまいります。

上水道事業においては、将来一日平均二立方メートル以上の水を確保することが必要とされますので、これに対応する大型水源の確保に昨年度に引き続き取り組み昭和五十七年度給水開始を目途に努力してまいります。

道路交通網の整備につきましては、就任以来毎年重点施策として取り上げ努力してまいりましたが今年も重点施策とし、道路整備債や迎地債、道路新設のための補助事業の活用、失業対策事業の一部を道路舗装に取り入れる等道路新設改良費に約二億円を計上し、積極的に取り組んでまいる所存であります。

教育 仮称始良小学校 建設に努力

また、国道一〇号線のバイパスの早期着工促進・県道の改良促進等活力ある市制施行の足がかりとしての基礎づくりにまい進したいと存じます。

すべて町民が段階的に生涯を通じて教育が得られるよう、社会連帯感のもとに教育条件の充実をはかり学校教育・社会教育・スポーツ等の振興をはかり文化の向上のために今年には教育費全体で約十一億円を投入し、重点施策として全力を傾ける所存であります。

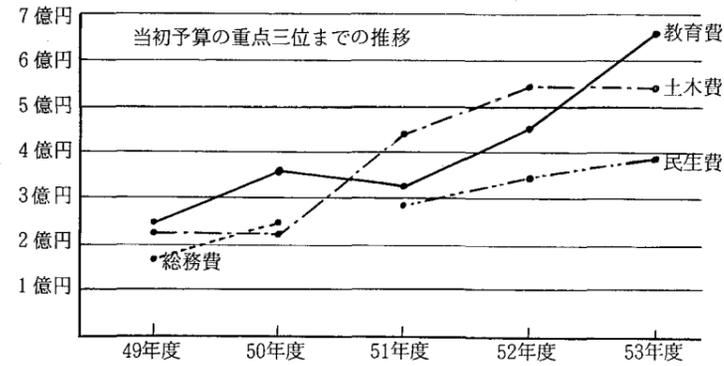
幼児教育は、今日関心が高まり重要視されていますが、今年度は私立幼稚園に補助金を拡大し、段階的に格差をなくし幼稚園教育の円滑な運営に努力してまいります。義務教育の施設整備として、建昌小の児童増加に伴う仮称始良小学校新設、山田中学校の危険校舎解消のための鉄筋校舎改築、建昌小学校の屋内体育館の改築等に精力的に取り組んでまいります。

また、高校誘致につきましては公立・法人等を問わずユニークな高校誘致の実現に関係機関に陳情を続けてまいる所存であります。

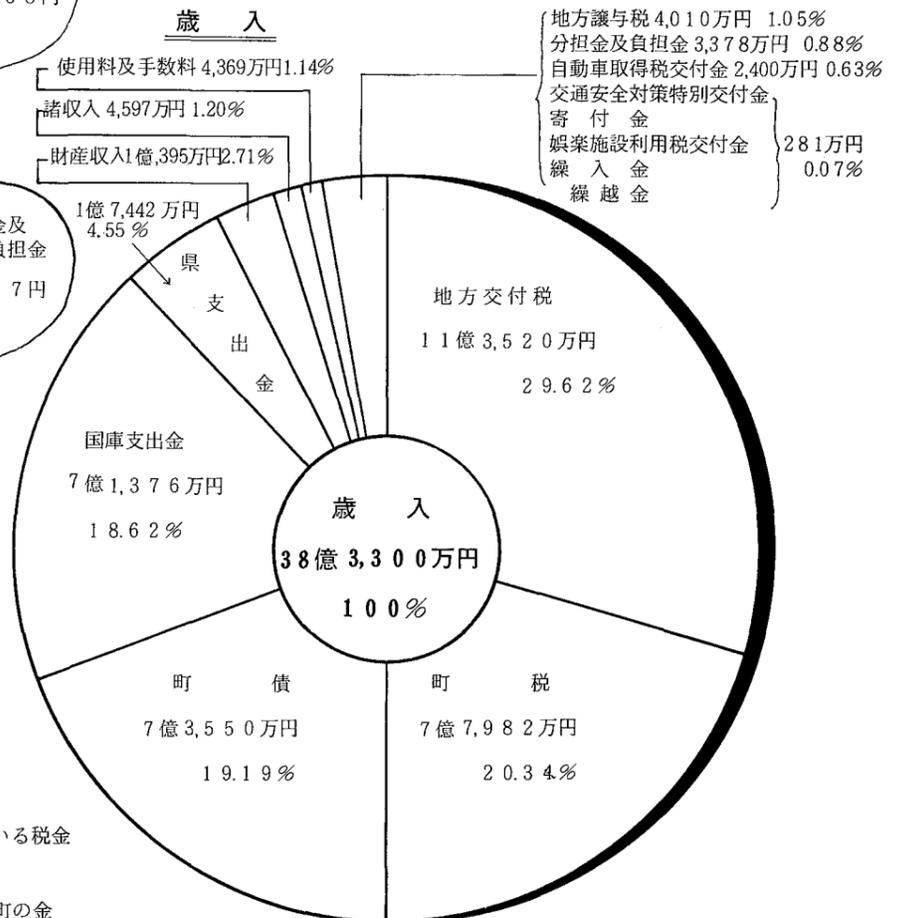
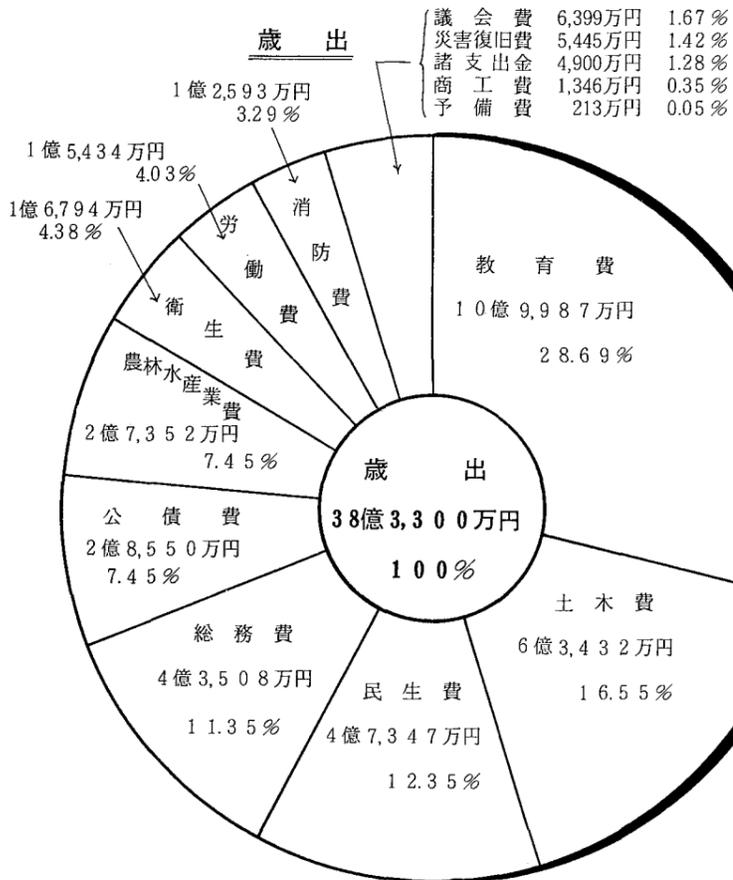
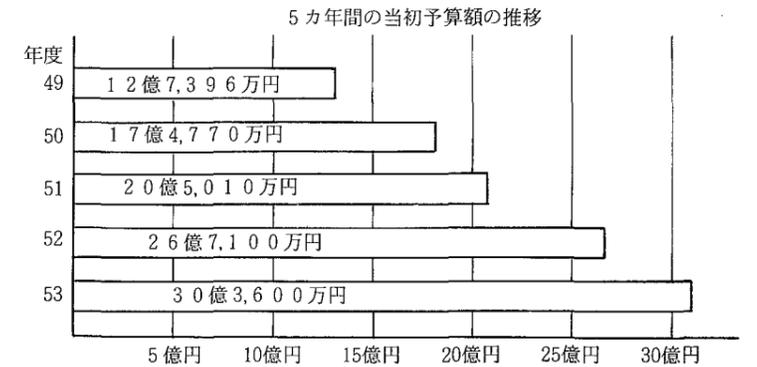
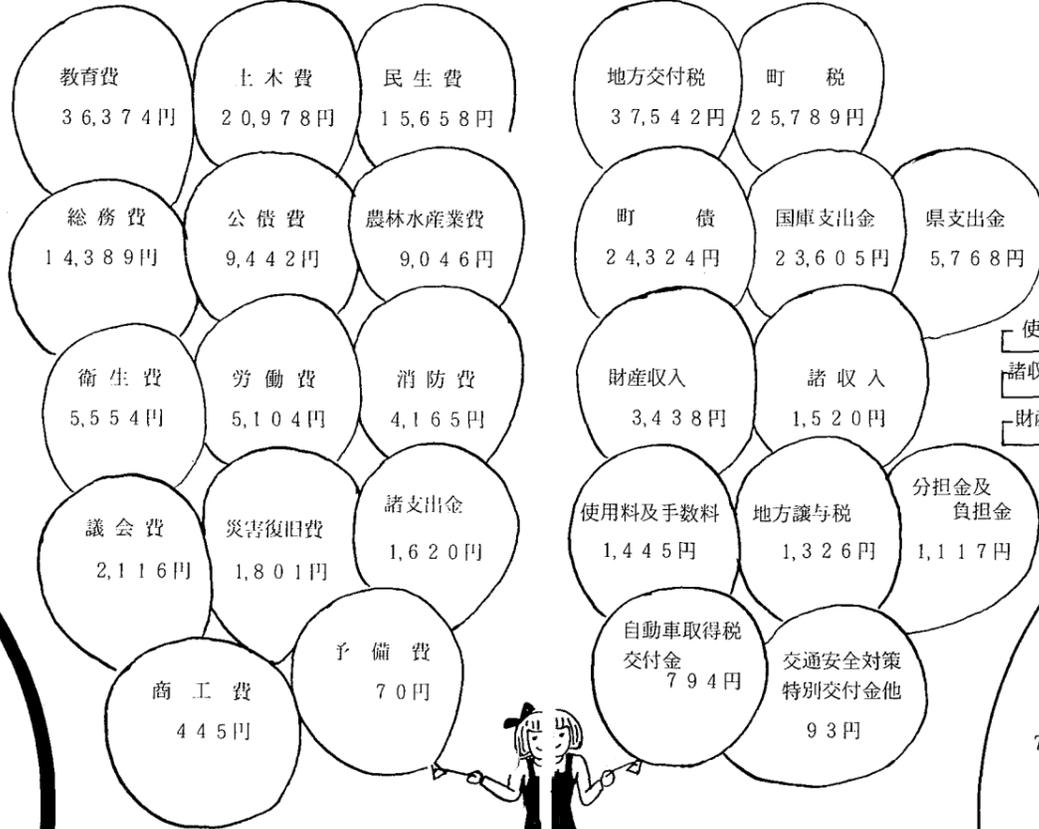
社会教育の面では、住民一人ひとりの豊かな人間づくりのかん養、連帯意識の高揚、生活文化を高める学習活動の拡充、自治公民館の育成等生涯教育としての社会教育行政を進めていきたいと思います。また、住民の健康は町政の基本でもあり、スポーツ活動を通じ地

昭和54年度 一般会計 当初予算38億円を突破

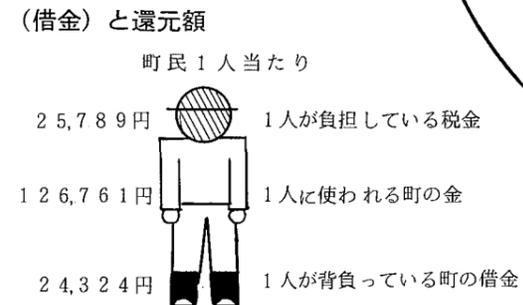
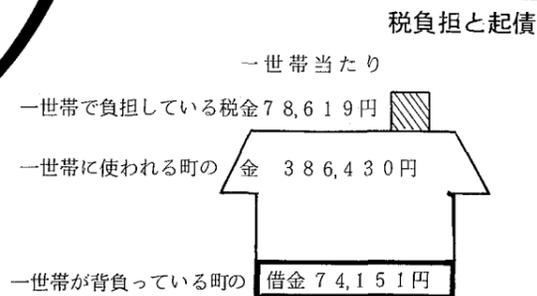
対前年比 126.3パーセント増



今年度の予算は 教育費・土木費に重点



歳出 町民1人当りの予算



第1回 定例町議会

母子家庭等に医療費助成

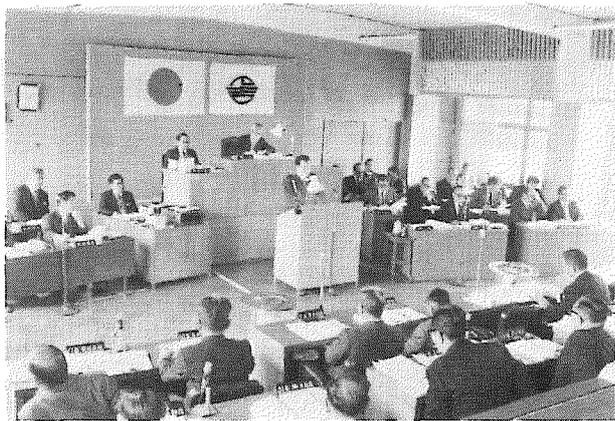
素牛購入資金の貸付額が増額

第一回定例町議会は、三月十二日から二十九日までの十八日間の会期で開催されました。

第一回定例町議会は、昭和五十三年度の最終本議会であると同時に、昭和五十四年度の町の発展方向を示す予算議会でもあります。

今回の定例議会に提案された議案は、昭和五十三年度一般会計・特別会計の補正予算のほか、新年度の各会計予算・始良町母子家庭等医療費助成条例制定など三十一件の議案と四件の陳情が審議されて、全ての議案について原案どおり可決成立しました。

可決された主なものは、次のとおりです。



始良町公民館使用条例の一部改正
重富地区に完成した、地区公民館の施設の使用料を下記のとおり決定したものです。

重富地区公民館施設使用料

使用時間	午前9時 ～ 午後1時	午後1時 ～ 午後5時	午後6時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後5時	午後1時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後10時
大会議室	500円	500円	800円	800円	1,300円	1,800円
小会議室	300	300	500	600	800	800
調理室	500	500	800	800	1,300	1,800

始良町母子家庭等医療費助成条例制定

最近の給水戸数の増加により、昭和五十四年四月から水道事業調査事務の一部を電算機化するために、今までとられてきた隔月検針のメーター検針を毎月検針に改めると同時に、給水装置の工事費の基準を国の基準に合わせたものです。

始良町水道事業給水条例の一部改正

昭和五十四年度から始まる上水道第三次拡張基本計画の樹立にともない、上水道の給水人口を二万五千人から四万六千人に改め、最大給水量も九千立方メートルを二万五千立方メートルと大幅に拡大し、給水区域を拡張したものです。

始良町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

1 施設使用料 生活センター使用料

使用時間	午前9時 ～ 正午	午後1時 ～ 午後5時	午後6時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後5時	午後1時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後10時
大研修室	500円	500円	700円	900円	1,100円	1,300円
小研修室	400	400	600	800	1,000	1,200
和室	400	400	600	800	1,000	1,200
食品加工	1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	2,500

始良町生活改善センター設置及び管理に関する条例の一部改正

昭和五十二年十一月に設置された始良町生活改善センター及び食

この助成措置は、保険診療で医療機関に支払った毎月分が二千元を超える場合に限り超えた金額を受給資格者登録を受けて、受給資格者証を交付されている者に限り町が助成することになります。

町内に住所を有する母子家庭・父子家庭並びに父母のない家庭の児童で満一八歳に満たない者に対して、医療費の助成を行なうものです。

始良町営住宅家賃徴収条例の一部改正

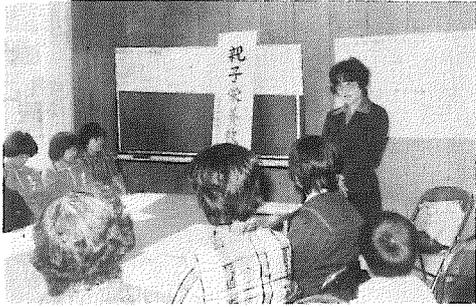
昭和五十三年度高樋部落に建設された、町営住宅の家賃一万八千円を条例化したものです。

今回の条例の一部改正により、町営住宅二種の家賃が四段階に区分されました。

和牛生産素牛購入資金貸付条例の一部改正

和牛生産雌牛の増殖及び町内の畜産の振興と農家所得の増加を図り、高齢者の福祉の向上を目的として、資金の貸付を行っているものです。

最近の、子牛せり市価格の値上に伴い、優良系統子牛が高騰し貸付限度額が三十万円では、優良子牛の導入が困難となったため、貸付限度額を五十万円に引き上げたものです。



あなたは健康？

動きだした サンライフ運動

みなさん、自分の健康を真剣に考えてみたことがありますか。

少しでも幸せで長生きしたい。人よりも健康でありたい。

人間だれしもが、日常茶飯事にしているものです。

しかし、近年経済情勢が良くなり人口の高齢化・栄養の不適切な摂取や運動不足等の要因で、みなさんの体質は自然肥満・貧血あるいは各種の成人病を引き起こしているのではないのでしょうか。

このような問題を解決するために、県民運動として県下の各市・町・村において展開されています。

豊かでぬくもりに満ちた生きがいのある町をつくるために意欲と連帯感を高め、明るく・たくましく・健やかな・美しい郷土を実現するために、「サンライフ運動」が行われ、各項目ごとにそれぞれ運動が展開されています。

①生活を明るくする運動

②心身をたくましくする運動

③健康を高める運動

三つの重点項目として、サンライフ運動は出発し町民のみなさんと一緒になり、住みよい始良町を築くために協力を呼びかけています。

では、具体的にはどのようなかを簡単に述べてみましょう。



楽しく親子で実習

生活を明るく する運動

心を豊かにするために、各個人の個性を伸ばし、生活に生きがいをもたせることです。

郷土文化を永久に伝承し、自分たちのおかれている立場を振り返り、昔を忍ぶ文化・民芸・芸能・郷土料理の良さを未来に普及すること、生きがいを感じてもらおうとするものです。

生涯教育学習としては、自治体あるいは地域の公民館活動を通じて仲間づくり、指導者の育成等が重要な働きとなります。

また、各種の趣味活動への参加も欠かすことのできないものです。

心身をたくましくする運動

スポーツ活動等への積極的な参加によって健全な心とからだづくりを行うとするものです。

老若男女を問わず、家庭・地域や職場で自分に合った適度の運動を行い、スポーツを通して健全な心とからだを鍛えようとするものです。

健康を 高める運動

生涯を通じ、人よりも健康で長生きし、人よりも良い食事を食べたいという欲望は断つことのできないものです。

健康、言葉では言い易く、ではあなたは本当に健康ですかと問われると困惑してしまう。自分の健康は、自分しか知らないのが当然であります。

そのように健康に対する自覚をたかめるとともに、生まれてから老人になるまでの一体的な健康管理と疾病に対する予防が重要視されねばなりません。

そのためには、地域ぐるみの栄養改善をすすめ親と子・乳幼児・妊産婦・農村婦人等の栄養教室等への積極的な参加により、栄養指導や健康診査でみなさんの健康を高め早期発見・早期治療で、一日でも長く健康で長生きしてもらおうとするものです。

このような、重点事項が少しでも町民のみなさんに浸透することで町内が明るく・美しく・健やかな町となることでしょう。

新入学（園）児の 交通事故をなくそう

新入学（園）児に 正しい交通のしつけを

～待ちこがれた入学（園）
おめでとうございませ～



農業委員決まる

会長に永吉正則さん



永吉会長

任期満了に伴う農業委員選挙の告示が二月一日に行われました。

公選による農業委員の定員一五人に対し立候補締め切り日まで一五人の立候補届が行われ二月八日立候補者全員無投票当選が決まりました。

農業委員の構成は、公選による委員一五人・推せんによる委員四人の計一十九人です。

推せん委員は、農業共済組合から一人・農業協同組合から一人・町議会から二人の推せんがなされています。

農業委員の任期は三年間で、今回委員となられたかたは昭和五十七年二月十二日までが任期となります。

また、今回一九人の新しい農業委員のかたがたにより、会長・会長代理の互選が行われ、永吉正則さんが会長、鳥越堅さんが会長代理と決定しました。

新しく農業委員となられたかたがたは、次のとおりです。

(一)は部落名です。敬称略
会長永吉正則(森) 会長代理鳥

越堅(黒瀬南) 以下委員花田美好(白浜) 米満篤史(東原東) 岸園初(増田) 徳丸一夫(十日町) 村田一夫(松原上) 富田武男(中川原) 西室田功(豊留) 瀬戸口侃(古馬場) 篠原芳幸(白金原) 飯屋広行(寺師) 東村美行(木津志) 脇之園秀雄(中津野) 大重博(上麓) 深川辰雄(山花) 堂蘭憲行(中郷) 福村義行(春花) 福居俊秋(触田下)

農地の転用は許可が必要です

登記簿並びに土地台帳のうえで田・畑になっている土地を、宅地・山林・その他に転用(使用)される場合は、農地法により県知事の許可が必要です。

自分の田・畑だということでも許可を受けずに、無断で植林等をされている農地が、多くあるようです。

植林・宅地等の埋立てを必要とされるものは、必ず許可を受けてから行ってください。

最近では、農業用水に家庭汚水が混入し農作業に支障をきたす例が多く見受けられます。

家の建築については、必ずタママス(排水処理)が必要とされますが、周囲の状況等から努めて大きい(内径六〇センチ以上)のタママスを設置されるようご協力をお願いします。

重富地区公民館 (国民年金融資)



工期 昭和53年8月19日～昭和54年1月15日
面積 425平方メートル
総建築費 3,625万円
国庫補助金 900万円
起債額 1,840万円
内容 大会議室1・小会議室2・事務室・図書館
料理実習室

公営住宅



工期 昭和53年9月18日～昭和54年3月10日
面積 1,037平方メートル
総建築費 9,698万円
国庫補助金 6,563万8千円
起債額 3,100万円
内容 中層耐火構造四階建・第二種公営住宅 16戸

公共事業(建物)相つぎ完成

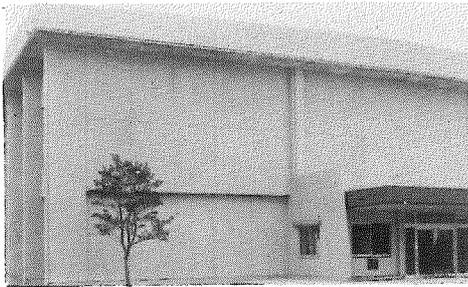
簡保・年金融資等で

昭和五十三年度の公共建設事業である、帖佐幼稚園園舎・重富中学校体育館・重富地区公民館・公営住宅が完成しました。

これらの公共建設は、地域の発展を先行するもので、年次的に企画立案され建設されています。このような、公共建設事業の建

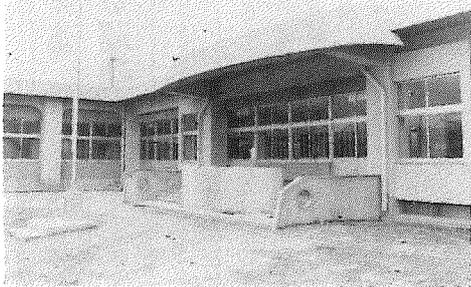
築財源は国からの補助金や、大蔵省の年金融資・郵政省の管身保険積立金融資等が大きな財源となり活用されています。町内のいたるところの道路・建物等の公共建設事業のほとんどがこのような財源処置で行われています。

重富中学校体育館 (簡易保険融資)



工期 昭和53年8月19日～昭和54年2月28日
面積 1,036平方メートル
総建築費 1億373万円
国庫補助金 3,174万円
起債額 5,400万円(うち縁故930万円)
内容 体育教習室・体育室・ステージ及び控室
観覧席

帖佐幼稚園



工期 昭和53年9月18日～昭和54年2月15日
面積 366平方メートル
総建築費 4,210万円
国庫補助金 1,918万円
起債額 2,060万円
(うち、公立学校起債1,500万円)
(縁故起債 560万円)
内容 管理室・園児室2・遊戯室1・保育室



早期発見・早期治療 成人病大会にぎわう

県成人病予防推進大会が、二月六日町公民館で盛大に催されました。成人病予防週間の一環として、昭和三十八年度から県下の各地域で、成人病の予防に對する正しい知識を普及し、特に中高年齢層の健康管理に役立たせるために開かれていたものです。

午後からの成人病予防講演では大ホールいっぱい約八百人の聴講者を迎え、「胃ガンについて」成人病予防協会長（鹿大名譽教授・鹿兒島通信病院院長）佐藤八郎先生「婦人ガンについて」鹿大医学部附属病院産科・婦人科教授森一郎先生、「高血圧・脳卒中・心臓病について」鹿大医学部附属病院霧島分院長新村健先生がそれぞれ専門分野について講演があり熱心に学習しました。

ガン検診・健康相談を受けた数

区分	申込者数	検診者数
胃ガン	339人	272人
乳ガン	130	118
子宮ガン	178	150

健康相談 59人

死亡 100人のうち60人が成人病・成人病の予防はまず検診

者をはじめ、多くのかたがたが、自分に適した栄養食のとり方について栄養士推進員の間で意見交換改善に期待されることでしょう。今回、検診・相談を受けられた数は次のとおりです。

ガンの危険信号 = 8カ条 =

- ★ ガンは無症状のうちに芽ばえます。とくに胃、子宮、乳房、肺などは、年1回検診を受けて安心しましょう。
- ★ つぎのような症状があったら、ためらわず専門医に診てもらいましょう。

1. 胃……………胃の具合がわるく、食欲がなくなり、好みが変わったりしないか
2. 子宮……………おりものや、不正出血はないか
3. 乳房……………乳房の中にシコリはないか
4. 食道……………のみこむときに、つかえることはないか
5. 大腸、直腸……………便に、血や粘液がまじったりしないか
6. 肺……………咳が続いたり、痰に血がまじったりしないか
喉頭……………声がかすれたりしないか
7. 舌、皮膚……………治りにくい潰瘍はないか
8. 腎臓、膀胱、前立腺……………尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。

郷土づくりに婦人が団結 青少年育成・新生活運動に力点

参加した婦人たちは、力を合わせ将来日本を背負う青少年の健全

が開かれました。この大会に参加した、婦人団体は町婦人会連絡協議会・母子会・農協婦人部・商工婦人部・栄養改善推進委員・生活改善グループ・生活学校・PTA母親・さざなみ会・民生委員の一〇団体の会員でした。

町内の婦人団体が相互に連携を保ち、親睦をはかりながらお互いに学習を重ね、心身ともに健康で豊かな人間性を持ち、明るい郷土づくりに努めようと約三百人の婦人団体会員が、一月三十一日町公民館に集まり、第二回始良町婦人団体大会



広報からのお知らせ

▽係では、よい広報紙を作るために、皆さんからのご意見ご要望をお待ちしています。

▽また、自分の知っていること、町民に知らせたい事などありましたら、お知らせください。

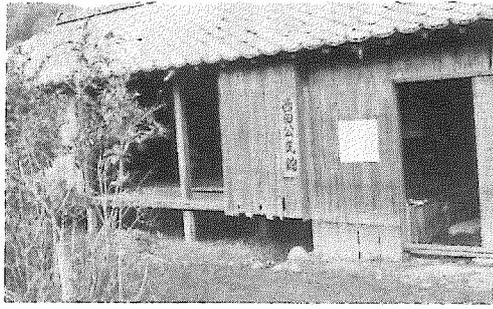


育成の問題、消費者問題の中で、特に新生活運動の徹底した推進を行なおうと、熱心に研究討議がなされました。

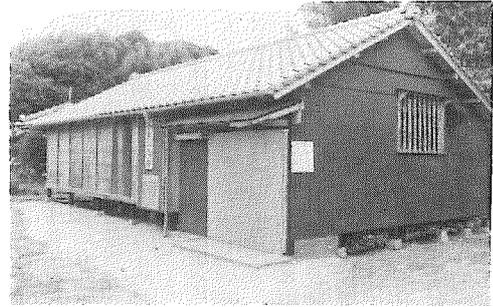
午後からは、四会場に分かれ、婦人の地位の向上を目ざして「町において、婦人団体の連携協調をはかるには、どうしたらよいか」「地域における青少年の健全育成の現状・問題点とその対策」のテーマで分科会が開かれ、身近に感じていること等を真剣に討論しあい学習しました。

そして、この話し合いを意義づけるには、まず、実践が大事と、自分たちでできることは即座に実行に移そうと誓い合いました。

住みよい環境で将来を背負う子どもたちが健やかに育つ町づくりにつとめようと団結しました。



改築前



立派に完成した西田公民館

農村振興運動で成果あぐ

コミュニティー育成事業で

西田公民館落成

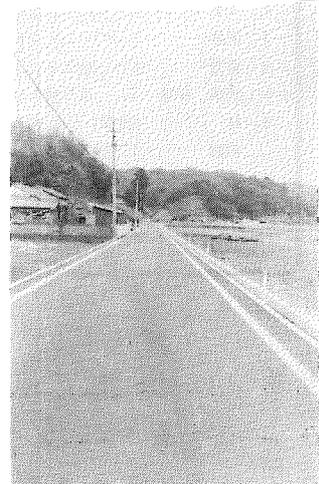
「畦道の声を積み上げ豊かでぬくもりに満ちた農村社会を建設する」を旨とする農村振興運動が昭和五十二年度から町をはじめ、農業関係団体などの協力で展開され、すでに二カ年を経過しようとしています。

農村に住む人々が、農村振興の気運を盛り上げ活気を呼びもどし「自立自興」を基本に、広く町民が農業の重要性を認識し、農村に住むすべての人々の自主的意欲の向上で、豊かなぬくもりに満ちた農村づくりに参加し、実践目標に向けて活動し解決していかうというものです。

このような「むら」をつくるために、話し合い活動をもとに「伝統文化・農業後継者・集会場等」身近かな問題を卒直に話し合い、自分たちで解決できる問題は自分たちで解決し、自力で解決しえない問題等は、村づくり事業の補助事業等を導入し、活気にあふれた「むらづくり」に参加するものです。

農村振興運動の成果として、町内で初めて西田公民館が、村づくり補助事業のコミュニティー事業を導入し集会所の補修工事を行ない、このほど完成しました。

営農団地間が一本化 期待される農免道



完成した大山入口

農畜産物輸送の基幹産業道路として期待されている、始良町大山／加治木町西別府間を結ぶ農免農道工事（農林漁業用揮発油税財源身替農道工事）の第一期分が完成しました。

この農道は、始良町分一、七四六号・加治木町分二、八四二号・総延長四、五八八号で幅員五号のアスファルト全面舗装で、昭和五十三年度より着手し三カ年間で完成する計画です。

総事業費二億二千八百万円の見込みで、事業費の30分の20を国、30分の8を県、残り30分の2を両町でそれぞれ負担します。

本町の地元負担金は、約七百六十万円となります。

26組のカップルを祝福

合同金婚式

第一期工事が完成した箇所は、既存の町道大山線六二〇号が改修されたものです。

全線が開通しますと、始良町・加治木町の主な営農団地を結ぶ一本の横断道路となり、鶏卵・キュウリ・みかん・和牛等の農畜産物の集出荷が便利になることでしょう。



明治・大正・昭和の激動期、最も困難な時期にともに手をたずさえて、社会に貢献された二六組のご夫婦を迎え、三月三日町老人福祉センターで合同金婚式が華やかに挙行されました。町で合同金婚式が催されるようになり、今年で三回目を迎えました。

「老人のための明るいまち推進事業」で始められた昭和五十一年

度には二二九組のカップルが誕生以来、五十二年度には三二組のご夫婦をそれぞれ祝福いたしました。都市化が進む始良町においても日増しに高齢者の数が増えつづけています。永年の苦勞をともに過ごした日々を振り返ってか目がしらに涙を浮かべて三三九度の盃を受けておられるご夫婦も見受けられました。

町長からの祝詞・記念品を手に入れ、古き良き日の想い出を感慨深くお互いに話しておられました。また、会場には加治木電報電話局からのご支援で特設電話が二基設けられ、遠く県外に住んでおられる子どもさん・おまごさんと、なつかしい声のたよりを交わすほほえましい光景がみられました。

合同金婚式の中で町長は「夫婦一緒になり、共に苦樂をされた人生五十年の経験は貴いものです。人口三万人を突破した始良町も、市制施行に向けて前進していますみなさんの貴い経験と知識を後輩に伝え、住みよい町づくりに協力してください」と激励しました。



優良団体・個人を表彰 社会教育大会

おし節度のある人間育成と常に問題意識をもち地域づくりに取り組

複雑化する人間関係・地域づくりの中
で「人間愛あふれる
豊かで活力に満ちた
緑の町づくりをめざ
し、連帯感を強め地
域づくり実践活動を
さらにすすめるよう」
と第五回始良町社会
教育大会が二月十五
日町公民館大ホール
で盛大に行われまし
た。

町民の教養・健康
の増進・情操の純化
生活文化の振興・社
会福祉の増進を旨と
すこの大会で、岩根
町長は「自からの手
で、ふるさつを見な
し、公民館社会教育学級等で学習
された経験を生かし地域で輪をさ
らに拡大してほしい」と激励のこ
とばがありました。

続いて優良自治公民館・南日本
花壇コンクール入賞校の表彰伝達
のほか、婦人会・PTA・子ども
会・社会体育の振興に尽力してい
る二団体、五人を表彰しました。
このあと、一年間一生懸命学習
した公民館社会教育学級の修了証
書が各学級の代表者に手渡され感
無量の二コマでした。

大会日程の中で、県青少年研修
センターの橋口義照講師による「
これからの地域づくりにおいて、
人間関係はどうなればならない
か」について講演があり、参加し
た人たちに問いかけていました。
午後からは、各学級の活動発表
や展示会が行われ終日にぎわって
いました。

大会で表彰を受けた団体・個人
は次のとおりです。
昭和五十三年度表彰伝達
始良地区社会教育振興協議会表
彰
優良自治公民館 松原上公民館
県民運動推進協議会表彰
南日本花壇コンクール入賞
重富 中学校
北山 小学校
社会教育大会表彰
団体の部
山太郎会（上名地区青年団）
白金原子ども会
個人の部
新屋幸一（子ども会関係）
中島則秋（社会体育）
松下嘉子（婦人会）
堂園俊男（PTA）
石神光男（自治公民館）



水道料金・集金体制 が変わります

電算機による委託業務が、四月
一日から始まりますので、これま
で隔月検針でありましたメーター
検針が毎月検針に変わります。
また、集金日・検針日の変更並
びに集金日・検針日の変更も併せ
て実施されます。
検針日・集金日の際、メーター
器の近くに物を置いたり犬をつな
がないよう、なお、標札等掲げ
住居者がはつきりわかるようご協
力を呼びかけています。

スポーツ短信

スポーツ熱は、町内の体育施設
の充実とともに一層高まり職場チ
ームや同好会チームが激しい闘志
に燃え友情の汗を流し合っていま
した。

成績は、次のとおりでした。
（ ）内は、実施日・実施場所。
出場チーム数の順です。
◇剣道大会
（2月11日 帖佐中）
少年の部 （三三三チーム）

闘志に燃え競い合う 三船校区駅伝大会

早春のやわらかい日影を全身に
受け、二月一八日三船校区一周部
落対抗駅伝大会が沿道の拍手を浴
びて盛大に行われました。

この大会は、校区九部落の親睦
と融和を目的として今年初めて行
われたものです。
三船地区スポーツ振興会が中心
となり、青年団・婦人会・壮年部
等各部落あげての大会でした。



おばちゃんガンパッテ

選手たちは、競技前に全員健康
診断を行ないベストコンディショ
ンで望みました。

一五区間（一七キロメートル）
一チーム一五人で、選手層も小学
生・中学生・高校生・高校生の男女、一般
男子と各段階に分けられ、激
しい闘志を燃やし競い合いました
三船小学校グラウンドを小学生
男子が号砲と同時に一着にスター
ト、各地元民の待ちうける各中継
所へ抜きつ抜かれたの熱戦をくり
ひろげながら、沿道の地元民の拍
手と声援を背に受けながら黙々と
ゴールを目指し、タスキが手渡さ
れ二位の中津野・増田チームを二
分三十六秒引き離し、船津チーム
が五十八分四十七秒の記録で初優
勝をなしとげました。

順位は次のとおりでした。
優勝 船津チーム、準優勝 中津
野・増田チーム、三位 寺師・黒
葛野チーム、四位 春花チーム、
五位 住吉・永瀬チーム

◇春季バレーボール大会
（3月18日 町勤労者体育セン
ター）
男子の部 （八チーム）
優勝 高山スポーツチーム
準優勝 ハラカラ会チーム
三位 始良町役場中
チーム）
SSCチーム

女子の部 （六チーム）
優勝 FLCチーム
準優勝 重富クラブチーム
三位 建昌クラブチーム
青春クラブチーム

優勝 建昌Aチーム
準優勝 北山Aチーム
中学生の部 （一二チーム）
優勝 帖佐中Aチーム
準優勝 北山中Aチーム
◇協会主催ソフトボール大会
（3月4・11日 重富中 四〇
チーム）
優勝 興山花チーム
準優勝 青葉台チーム
三位 重富スポーツクラブチ
ーム
始良西部消防組合チーム